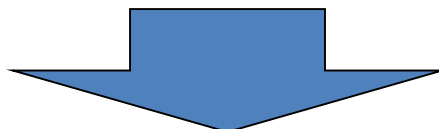


旅行会社の皆様へ

観光産業共通プラットフォームの ご案内

1. プラットフォーム構築にいたる経緯

**コロナ禍で大きなダメージを受けた観光産業、
とりわけ宿泊事業者と旅行会社の間で改善・
解決できる課題はないか？**

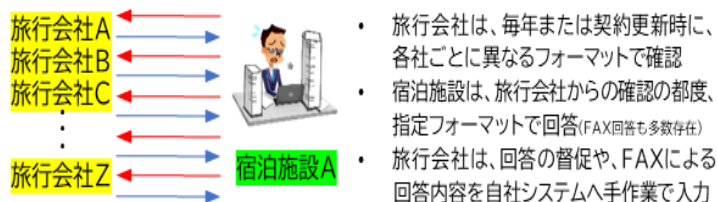


**まずは双方で非効率になっている業務を一元化
して生産性を向上させ、人手不足をはじめとした
諸課題の解決の一助になる仕組みを作る**

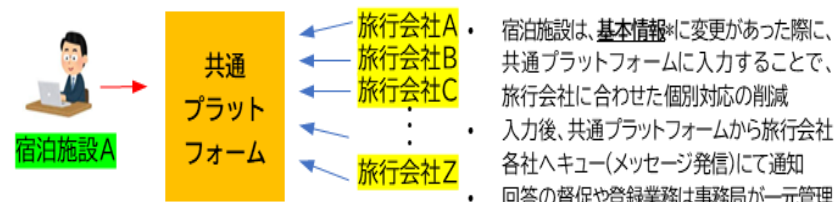
2. プラットフォームの機能について

<宿泊施設の基本情報、営業情報について>

構築前

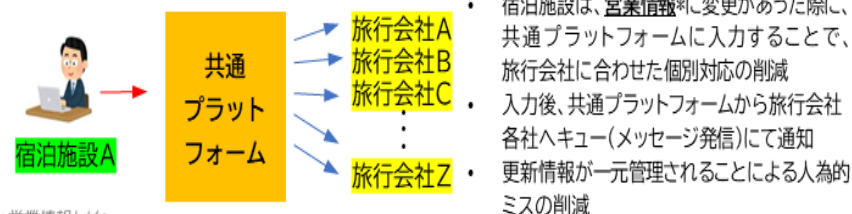
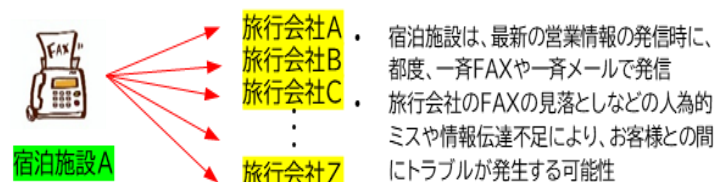


構築後



*基本情報とは:
施設名、所在地、電話番号、チェックイン・チェックアウト時間、築年数、地上階数、地下階数、エレベーター、部屋数、部屋タイプ・眺望、備品、バストイレ有無、レストラン、宴会場(数、収容人数、広さ等)、会議室、大浴場(数、露天風呂・サウナの有無、洗い場の数等)、駐車場有無、大型バス対応可否、アクセス情報、娯楽施設、利用可能クレジットカード、最寄りの病院・警察署など約1,000項目を保持予定

①
宿泊施設基本情報
集約方法の
一元化



*営業情報とは:
一部客室の改装による利用停止や大浴場のメンテナンス、レストランの臨時休業など、期中で発生する営業上の各種情報

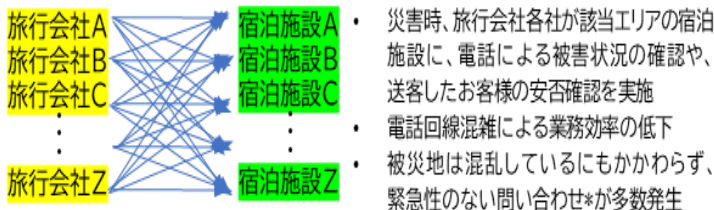
②
宿泊施設営業情報
発信方法の
効率化

2. プラットフォームの機能について

<災害時の情報集約について>

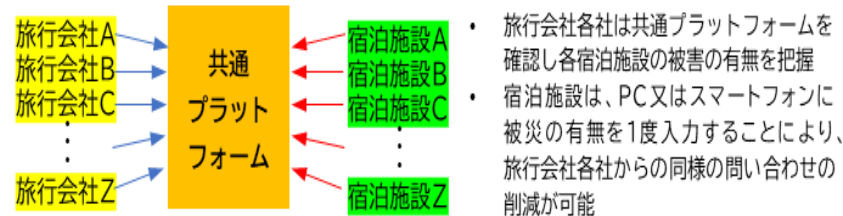
③
災害時における
正確・迅速な
情報集約

構築前



*緊急性のない問い合わせ(一例): 1か月先の団体は受け入れ可能か、道路はいつ復旧するのか等

構築後



※実際に人的被害が出た場合は、共通プラットフォームだけでは対応できないため、従来通り宿泊施設と旅行会社各社で連携して対応

※オペレーション機能の設置

オペレーション
機能

✓ また、上記①～③に関して、実効ある運用のため、JATA組織内に「観光産業共通プラットフォーム運営事務局(仮)」を設置し、下記の業務を実施する

災害発生時の該当エリア宿泊施設への情報登録依頼発報、
登録確認、未登録者フォロー

宿泊施設への定期的な情報確認・登録依頼、
登録情報管理、未登録者フォロー

システム操作方法支援、問い合わせ対応
(DX化促進のためのボトムアップ)

3. 関係団体からのご賛同・ご協力

今回構築する観光産業共通プラットフォーム
には、下記の関係団体よりご賛同、ご協力を
いただいております（2023年5月8日現在）

一般社団法人 全国旅行業協会

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

一般社団法人 日本旅館協会

一般社団法人 日本ホテル協会

一般社団法人 全日本ホテル連盟

4. スケジュール

旅行会社の皆様の第一次申込締切： 2023年6月16日（金）

災害時情報集約機能のご担当者向け詳細説明： 6月下旬予定

全国一斉災害時情報集約訓練（宿泊事業者向け）： 7月1日（土） 予定

災害時情報集約機能本稼働： 7月下旬予定

基本情報・営業情報機能のご担当者向け詳細説明： 10月上旬予定

基本情報・営業情報機能本稼働： 10月下旬予定

※旅行会社の皆様からのお申し込みは、第一次申込締切後も順次お申し込み
いただくことが可能です

※ご担当者向け詳細説明については、お申し込みいただいた旅行会社の皆様に
別途ご連絡いたします